

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度 37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のもも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約5名	校区活動経験	未回答
	校区での立場	校区社協長、民生児童委員、ボランティア、一般住民		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況 37の地域交流施設のなかでは、連携ができている交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている 地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している 自治会に加入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成している	
15.	校区住民に運営にかかわってもらっていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。 事業者側が主催する各種事業で運営や企画を担ってもらっている。 併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

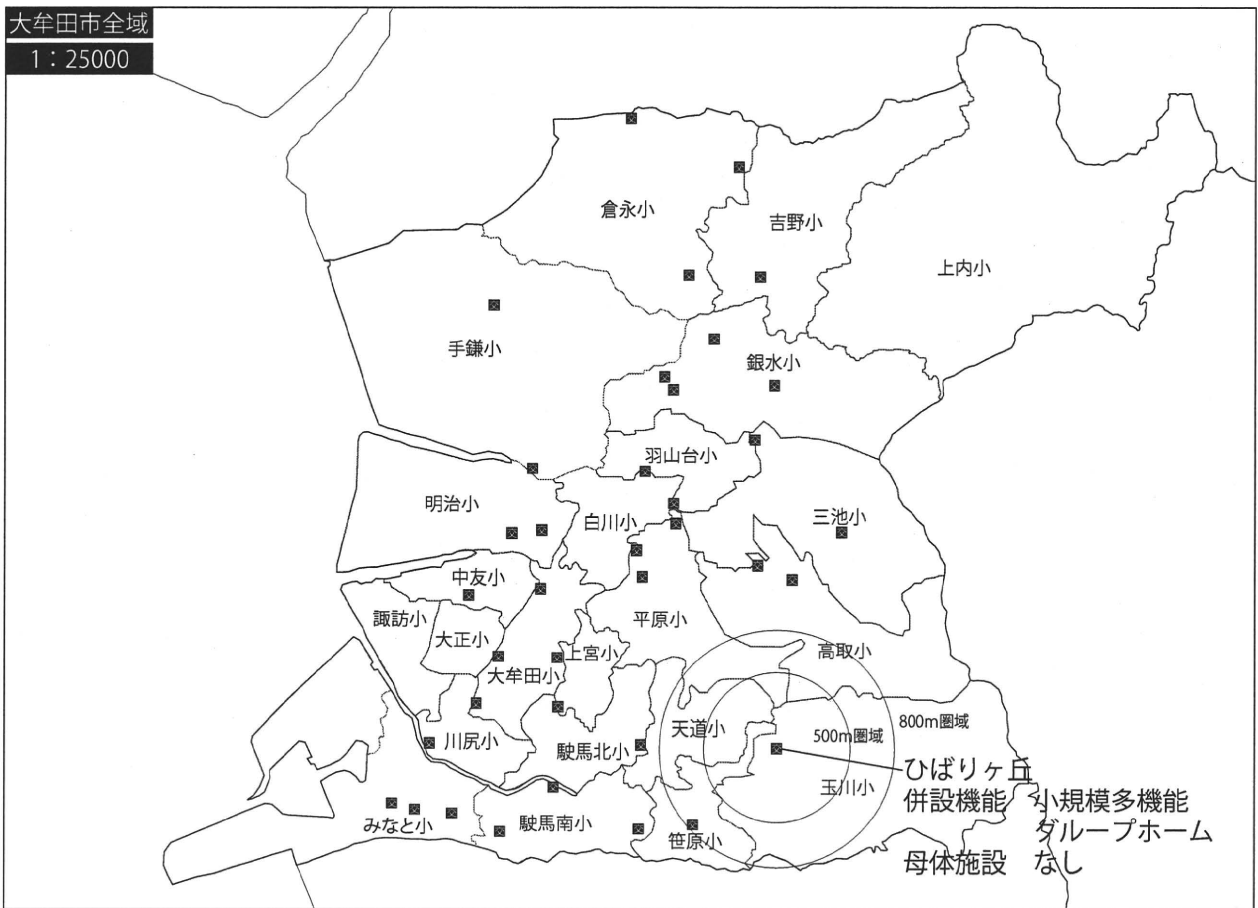
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			有
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか 民生委員からの連絡を受けて同行訪問。相談内容によって各種の申請や、地域包括支援センター・ケアマネとの調整を行っている。			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善の双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	地方の情報を流してもらいたい。			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	地域に溶け込むきっかけを作ってもらいたい。			

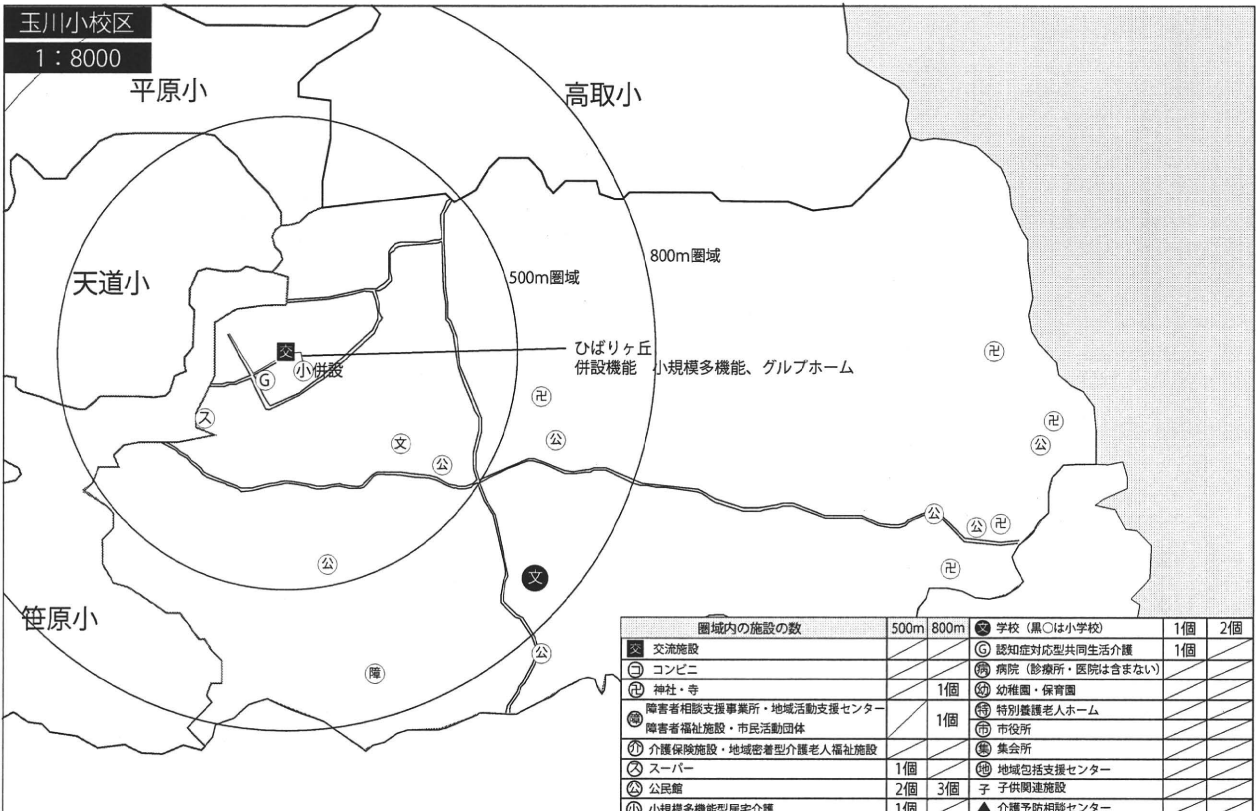
大牟田市全域

1 : 25000



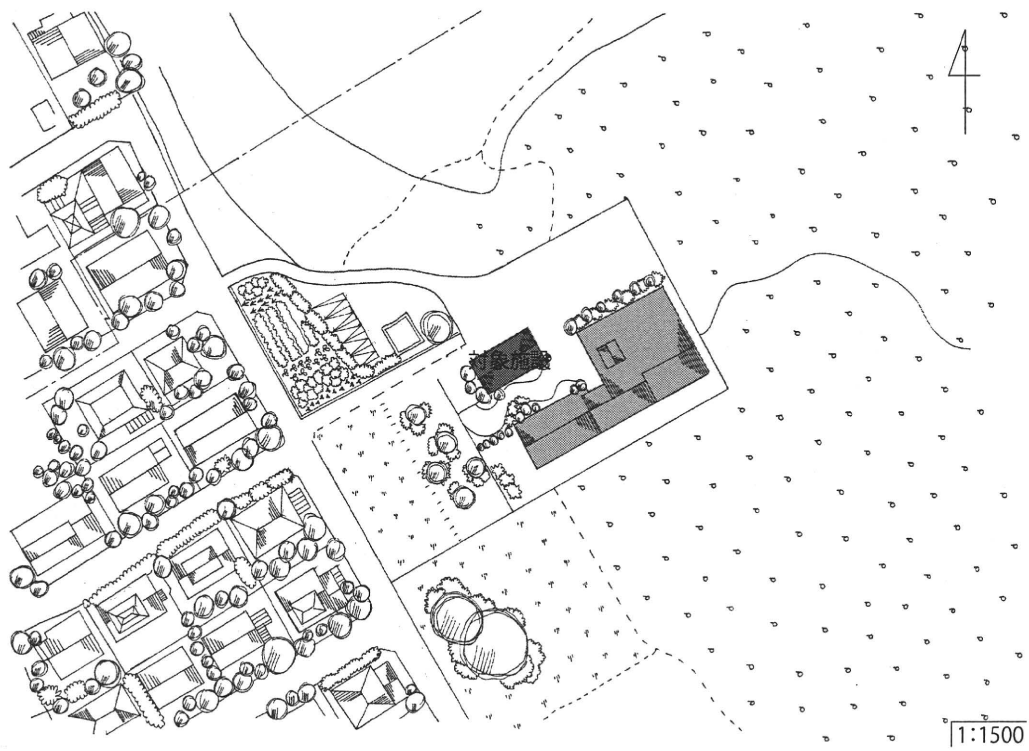
玉川小学校区

1 : 8000



	圏域内の施設の数		学校 (黒○は小学校)	1個	2個
	500m	800m			
交流施設			㉞ 認知症対応型共同生活介護	1個	
コンビニ			㉟ 病院 (診療所・医師は含まない)		
神社・寺		1個	㊱ 幼稚園・保育園		
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター		1個	㊲ 特別養護老人ホーム		
障害者福祉施設・市民活動団体			㊳ 市役所		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設			㊴ 集会所		
スーパー	1個		㊵ 地域包括支援センター		
公民館	2個	3個	㊶ 子供関連施設		
小規模多機能型居宅介護	1個		▲ 介護予防相談センター		

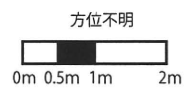
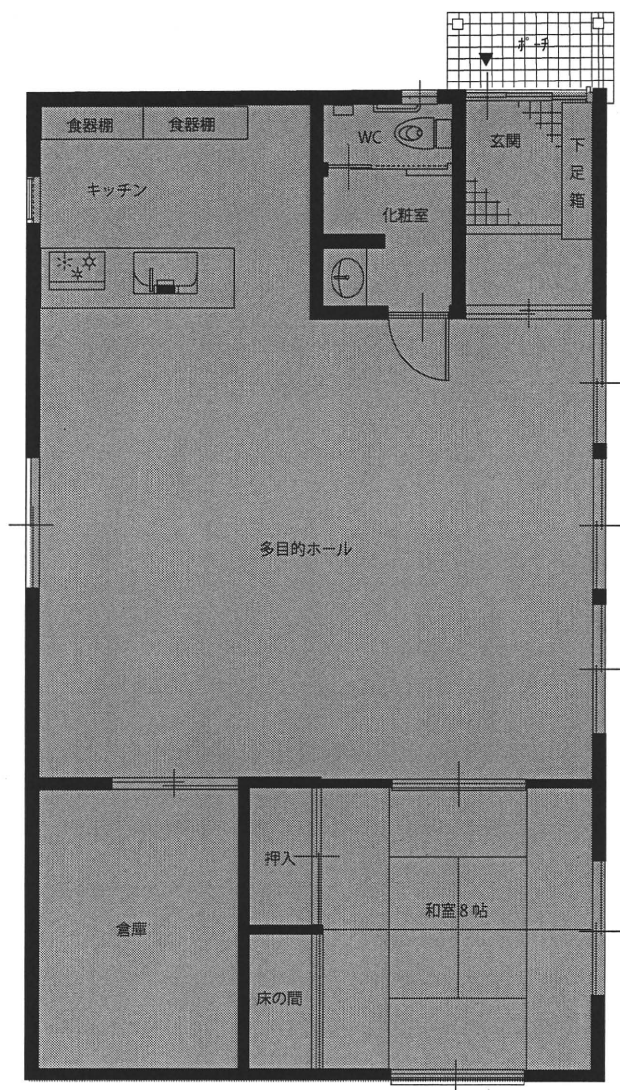
人口	3389人	老人クラブ加入率	27.3%
65歳以上の高齢者数	1183人	公民館加入率	32.6%
単身高齢者世帯数	331人	投票率	55.3%



ひばりヶ丘 配置図



ひばりヶ丘 南西側立面図 1/400



地域交流拠点

地域交流スペース面積：101.80㎡

ひばりヶ丘平面図 1/100



①交流拠点外観 左側：交流拠点
右側：小規模多機能
中央：グループホーム



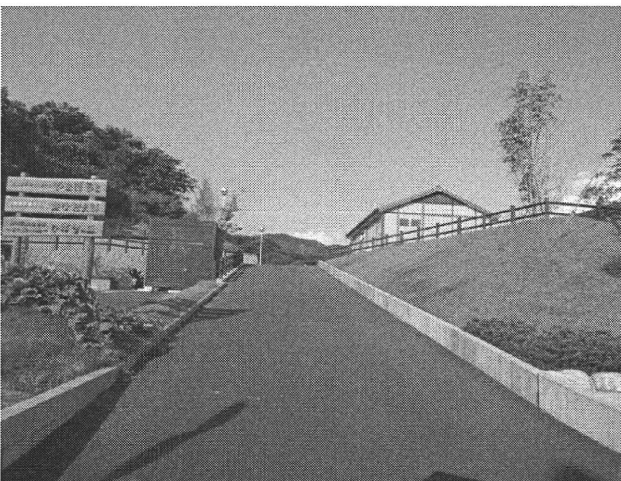
②交流拠点外観 右側：交流拠点入口



③交流拠点外観



④建物外観（グループホーム）



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	笹原校区	交流拠点名	さくら並木 ささはら
		法人名	(医)静光園(第二病院)

【施設概要】

1.	開設年月	平成20年11月開設		
	整備手法	新規建設		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1627万円(うち補助金額750万円)		
2.	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合:交流拠点と同一建物内にあるもの	小規模多機能		
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	訪れやすいと思う		
	その理由:新築であること、勝立公民館に行くより近くにあること			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	3名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	兼任	介護福祉士	小規模多機能との兼務
	2人目	兼任	介護福祉士	小規模多機能との兼務
	3人目	兼任	ヘルパー2級	小規模多機能との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:14.4万円	支出:12万円	
	交流拠点の家賃	家賃なし		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	20	188	1520	2:0:16:2
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
	20:0	9:0:11		6:1:13
法人が行っているのは市からの委託事業であるよるよかばーい教室とはにかみ教室のみであり、その他には地域住民主体のサークル活動が数多く開催されている。住民主体の活動としてはフラダンス、社交ダンス、アロマクラフト作りなど運動系の活動から創作系の活動まで幅広く実施されている。				
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～土	開館時間	9:00～17:00
8.	開館時の職員の常駐場所	併設施設		
	毎月の延利用者数	約149名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかばーい体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)	独自の交流拠点事業		
	対象者)			参加形式)
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約制
	不定期の利用回数			無
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄り場			無	
提供内容			利用者数	
ボランティアの参加の有無		無	延ボランティア数	
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能交流施設の近くの世帯に直接配布と回覧板			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約4名	校区活動経験	経験豊富
	校区での立場	ボランティア、一般住民		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している交流施設ではなく法人で地域のお祭りなどに参加し出店している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

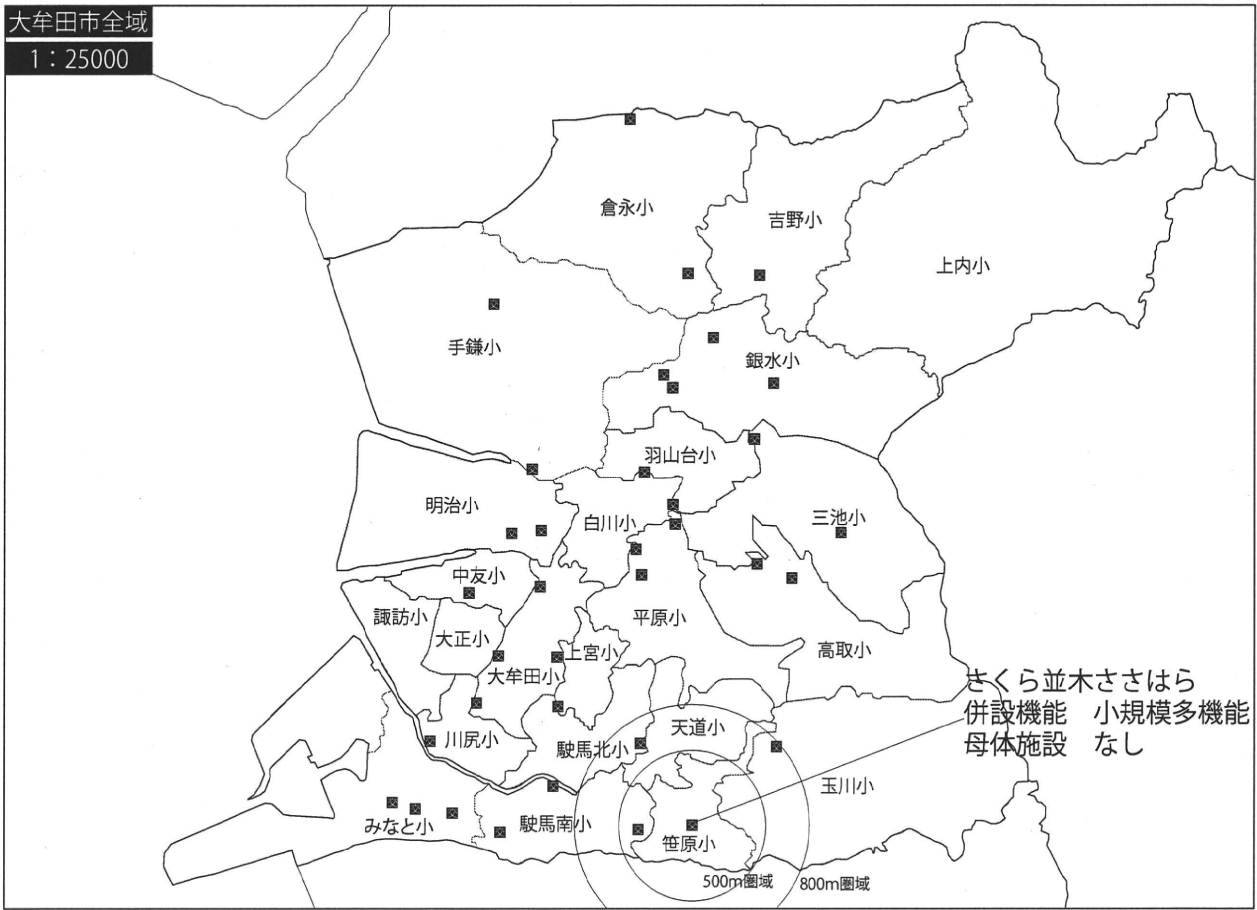
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が特に活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がとともある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			無

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与と思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

大牟田市全域

1 : 25000



さくら並木ささはら
併設機能 小規模多機能
母体施設 なし

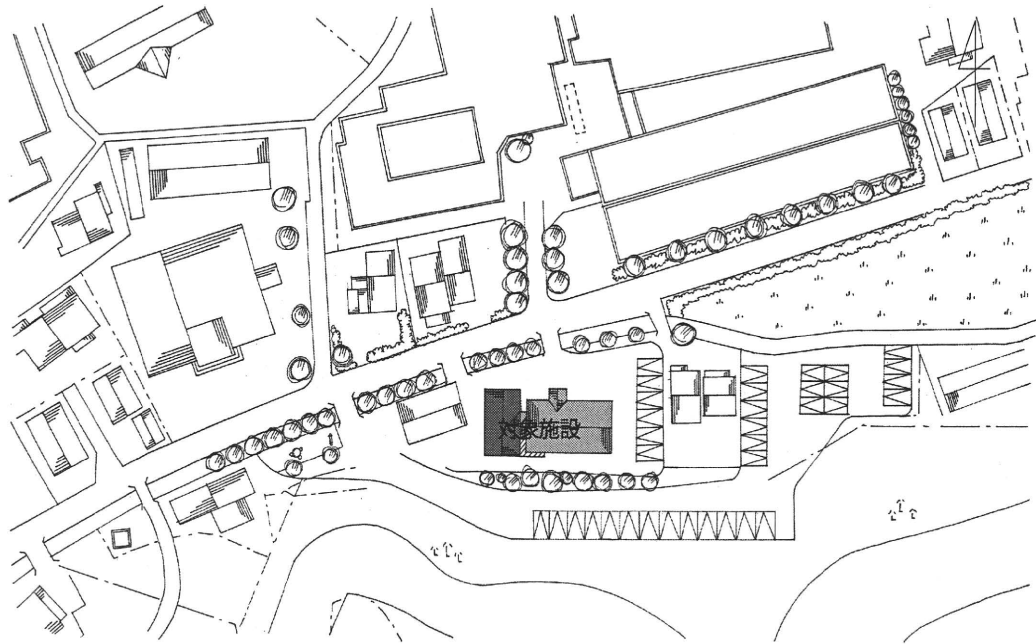
菅原小校区

1 : 8000



圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	1個	1個
コンビニ		
神社・寺	2個	2個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター 障害者福祉施設・市民活動団体	1個	1個
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー	1個	1個
公民館	5個	5個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	3個	3個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター		

人口	4226人	老人クラブ加入率	6.3%
65歳以上の高齢者数	1292人	公民館加入率	36.3%
単身高齢者世帯数	361人	投票率	57.3%

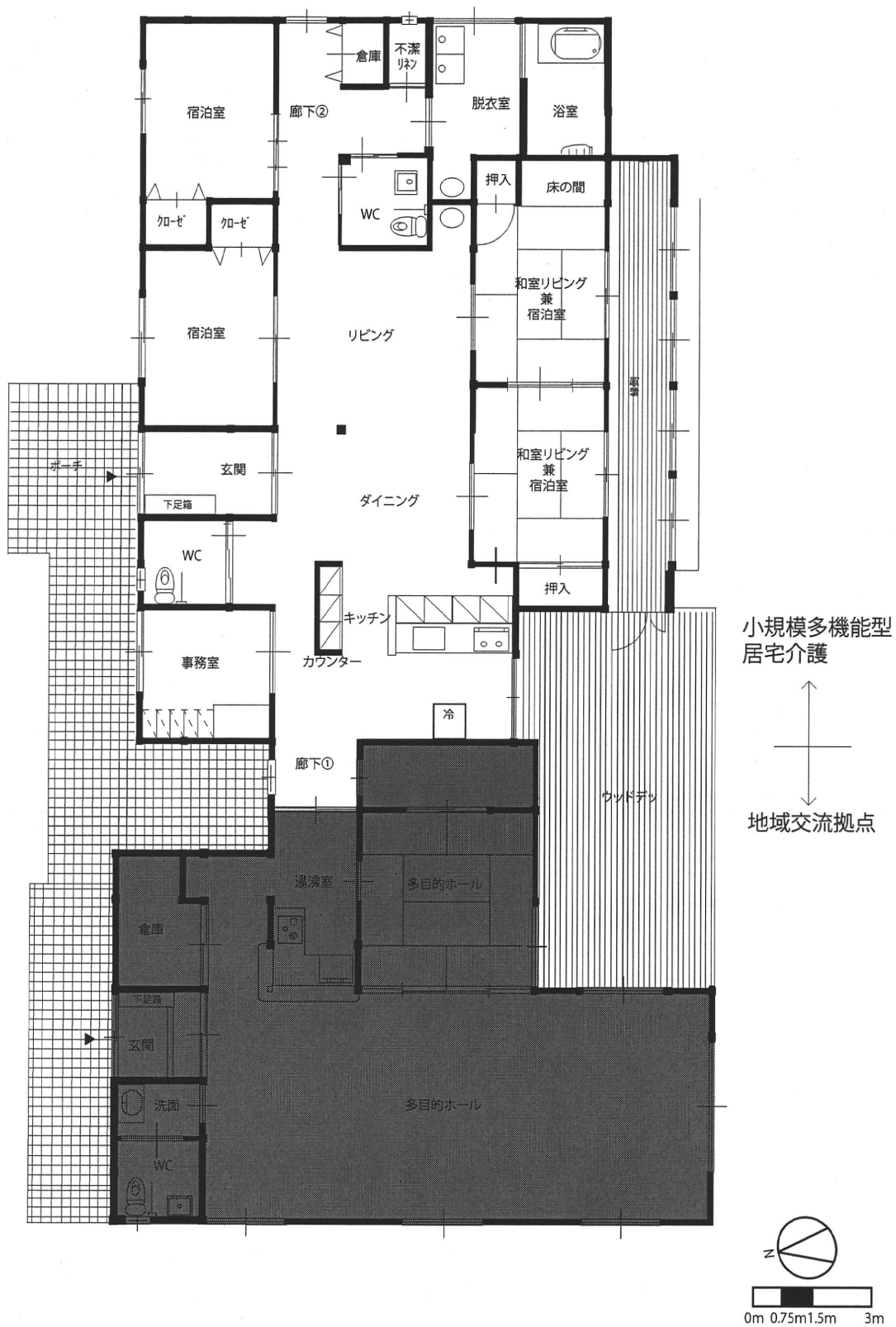


1:900

さくら並木ささはら 配置図

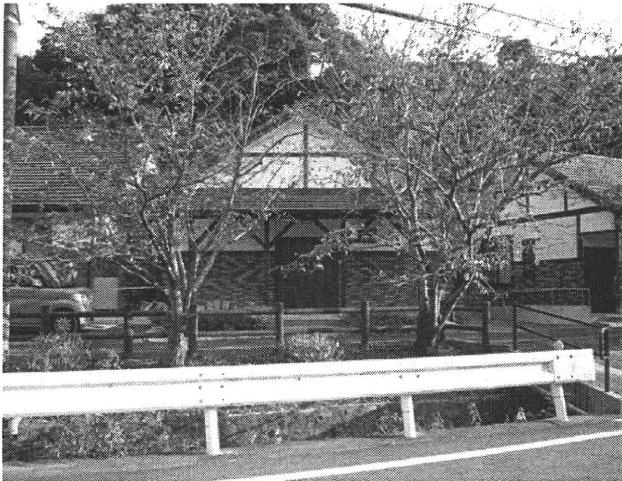


さくら並木ささはら 北側立面図 1/400



さくら並木ささはら平面図 1/150

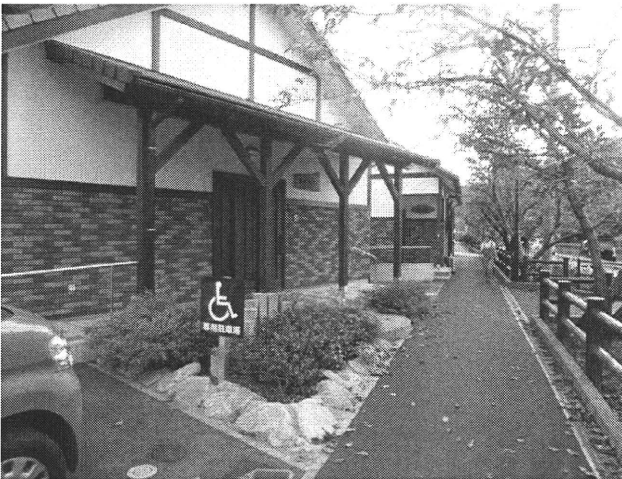
地域交流スペース面積：98.50㎡



①建物外観（交流拠点）



②建物外観（小規模多機能）



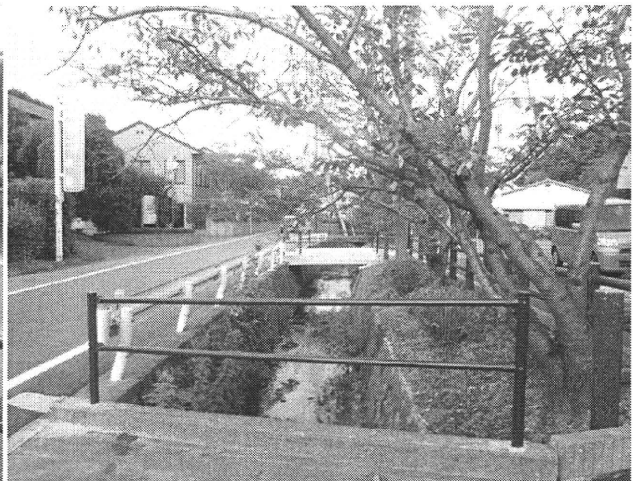
③交流拠点入口



④交流拠点外観 裏側



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	鞍馬北校区	交流拠点名	いこい
		法人名	(医)信和会

【施設概要】

1.	開設年月	平成19年5月開設	
	整備手法	新規建設	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:2730万円(うち補助金額750万円)	
2.	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有	
	有の場合:交流拠点と同一建物内にあるもの	小規模多機能、訪問介護、居宅介護支援事業所	
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	どちらとも言えない	
	その理由:		
3.	運営に関わる主なスタッフ数	8名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目 兼任	未回答	法人内施設等との兼務
	2人目 兼任	未回答	法人内施設等との兼務
	3人目 兼任	未回答	法人内施設等との兼務
	4人目 兼任	未回答	法人内施設等との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:75万円	支出:20万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	11	104	1152	2:9:0:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
	11:0	11:0:0		未回答
	定期的な活動は、市からの委託事業であるよかば一い体操と、法人主体によるパッチワーク、筆ペン教室などである。隔週で実施されており、1回あたりの参加者数は10名前後である。その他にも不定期な活動として肩こりや介護についても健康教室などが開催されている。			
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～金	開館時間	8:30～17:00
	開館時の職員の常駐場所	併設施設		
8.	毎月の延利用者数	約96名	利用者数の増減	利用者数は横ばい
	大牟田市委託事業(よかば一い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け	参加形式)事前登録制		
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約制
	不定期の利用回数			
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容	利用者数		
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無
	提供内容	利用者数		
ボランティアの参加の有無	無	延ボランティア数		
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無			作成していない
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約3名	校区活動経験	経験豊富
	校区での立場	公民館館長、校区社協長、民生児童委員		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている			
14.	校区の資源マップ作成の有無			作成していない
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	事業者側が主催する各種事業で運営や企画を担ってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

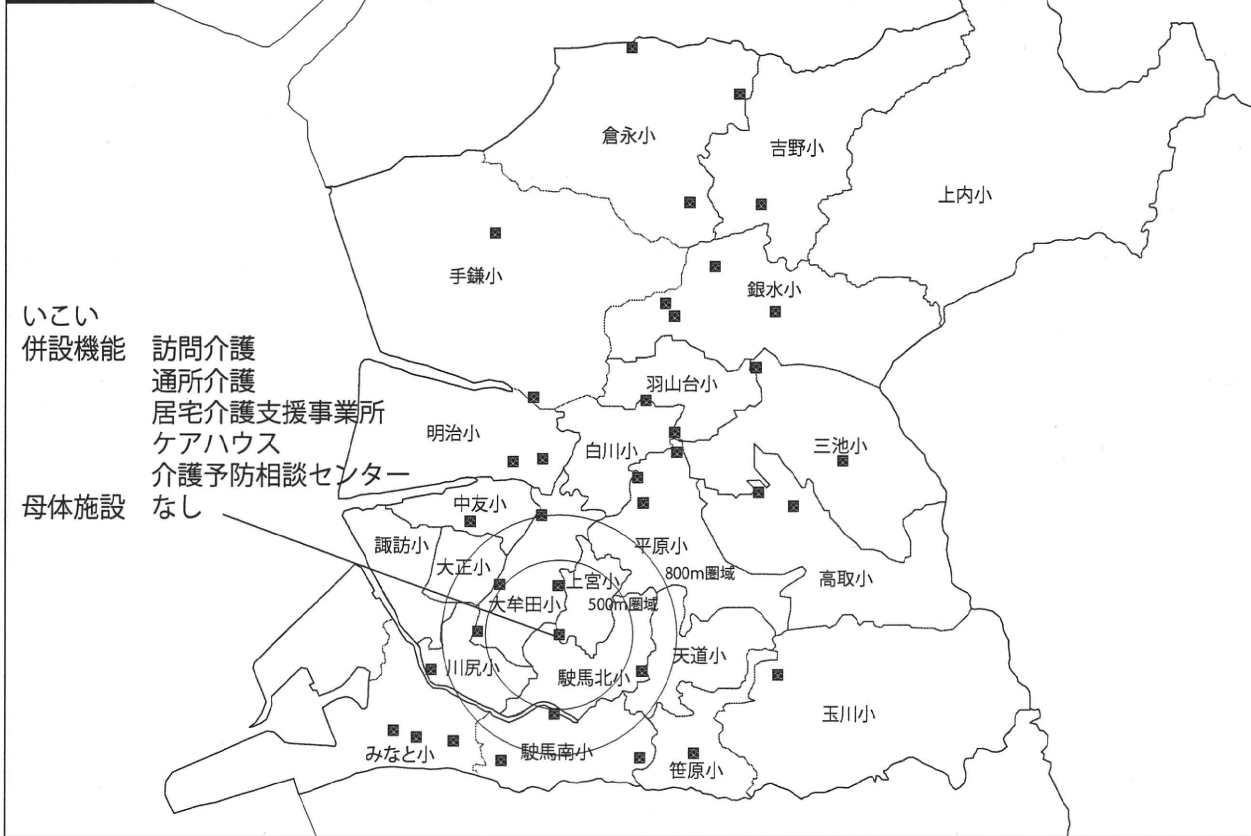
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動があまり活発ではない			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			無

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか			
	サービス向上、長期的な経営改善の双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について			
	必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	地域住民との連携の際の橋渡し			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	行事開催時の人集め			

大牟田市全域

1 : 25000

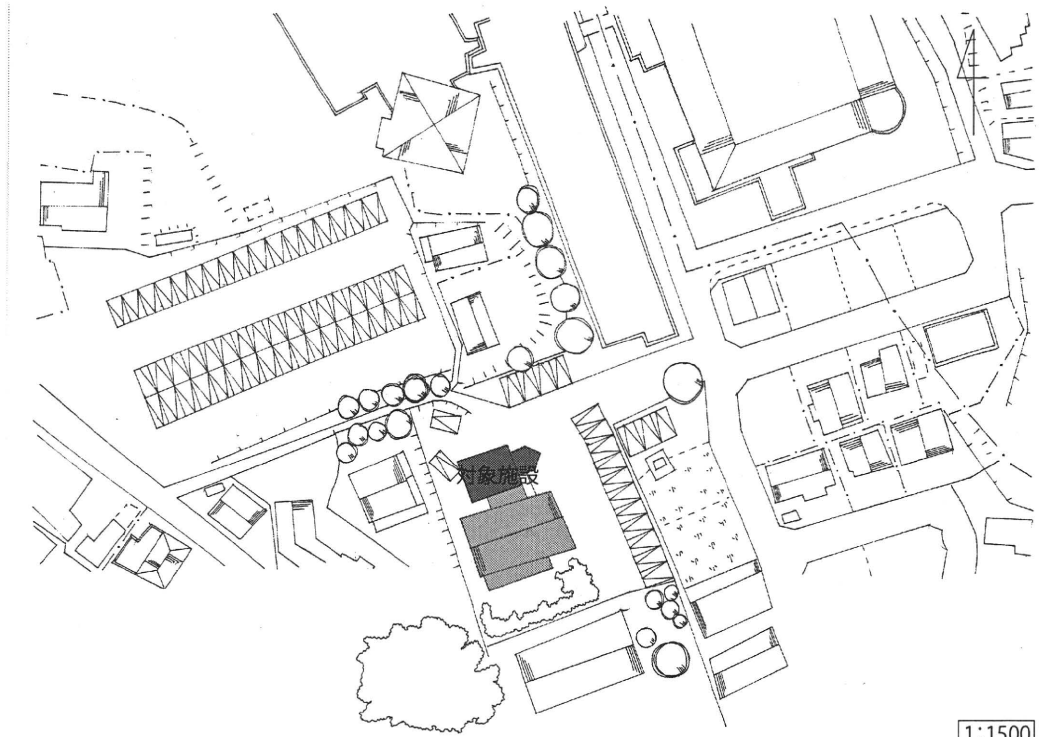


駿馬北小校区

1 : 8000



人口	4741人	老人クラブ加入率	0%
65歳以上の高齢者数	1713人	公民館加入率	36.4%
単身高齢者世帯数	561人	投票率	55.5%

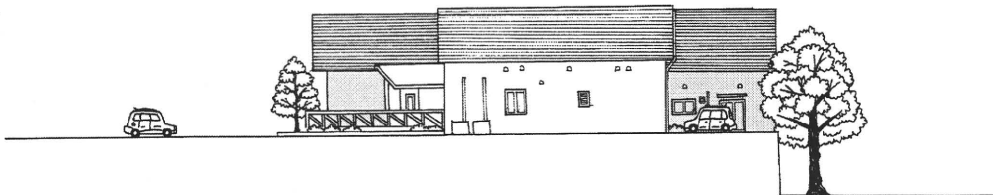


1:1500

いこい 配置図

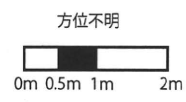
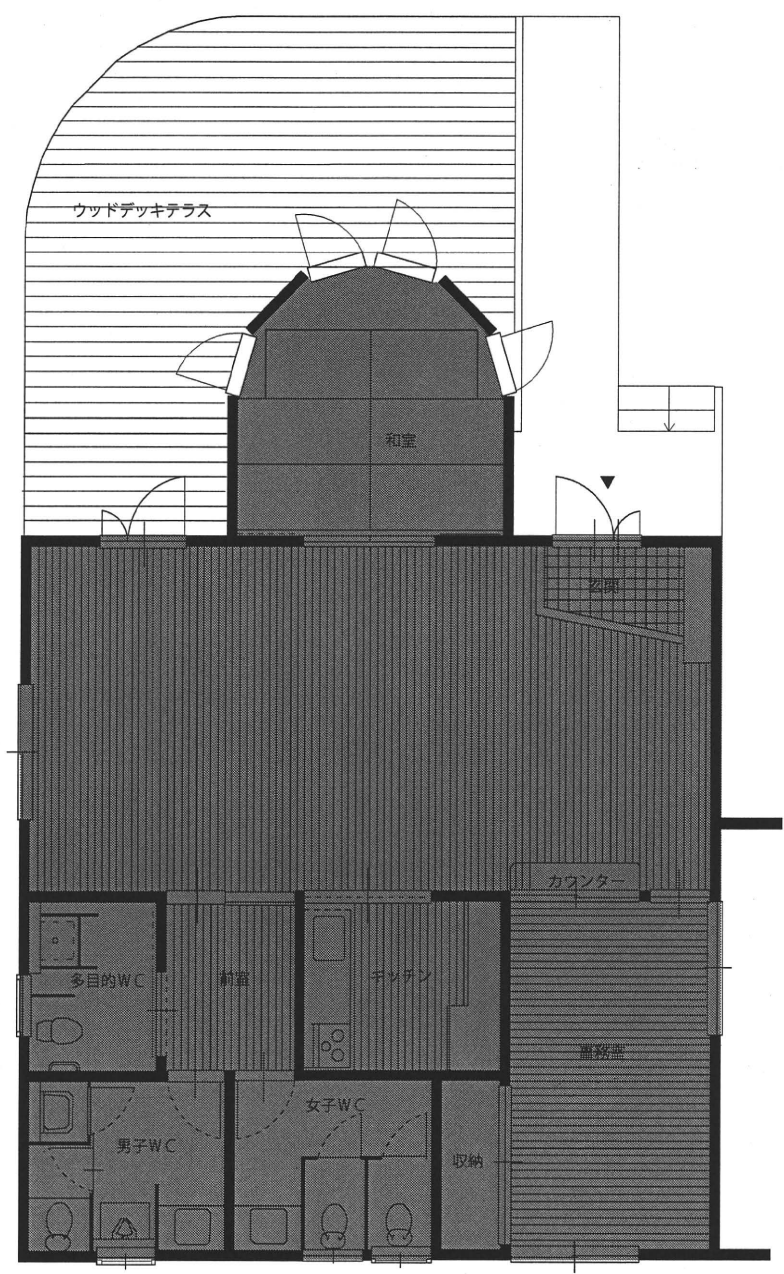


北側立面図



東側立面図

いこい 立面図 1/400



地域交流拠点 ← → 小規模多機能
 型居宅介護
 地域交流スペース面積：103.14㎡

いこい平面図 1/100



①建物外観（手前：交流拠点）



②建物外観 正面



③建物外観（交流拠点）



④建物外観（裏側：小規模多機能）



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	鞍馬北校区	交流拠点名	やぶつばき地域交流センター
		法人名	(社福)木犀会

【施設概要】

1.	開設年月	平成18年7月1日開設		
2.	整備手法	法人・事業所の既存部分を活用		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:940万円(うち補助金額700万円)		
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの	訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業所、ケアハウス、介護予防相談センター		
	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	どちらとも言えない		
	その理由:			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	2名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	兼任	介護福祉士	法人内施設との兼務
	2人目	兼任	社会福祉士	法人内施設との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:0.4万円	支出:0.4万円	
	交流拠点の家賃	家賃なし		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合		
	8	106	921	1:4:3:0		
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動		
	4:4	7:0:1		1:1:6		
	定期的な活動は、市からの委託事業であるよるかば一体操のみである。不定期には、住民主体のカラオケ教室や法人主体のレクリエーション活動の場としての利用されている。また、公民館の会議の場としての利用されている。					
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。				
	開館曜日	月～土		開館時間	10:00～16:00	
	開館時の職員の常駐場所	併設施設、状況把握を必要時行う				
8.	毎月の延利用者数	約76.8名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している		
	大牟田市委託事業(よかば～い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している		
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			有		
	名称)筋力アップフォロー教室					
	独自の交流拠点事業			実施している		
	対象者)高齢者向け			参加形式)未回答		
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約制		
	不定期の利用回数					
	常時運営している有料のレストランや食事処			無		
	提供内容			利用者数		
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			有		
	提供内容	未回答		利用者数	未回答	
	ボランティアの参加の有無		有	延ボランティア数	約4.9名/月	
送迎の有無			無			
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有			

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成していない	
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー		無(該当者はあり)	
	人数		校区活動経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		ボランティア	
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	該当なし			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	校区協同でのいきいきサロン			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	校区内に小サロンを設置している		
	小サロンの数	1件	場所	交流拠点
	開催数	1サロンにつき月1回、20人程度が参加		運営主体

【地区住民のポテンシャル】

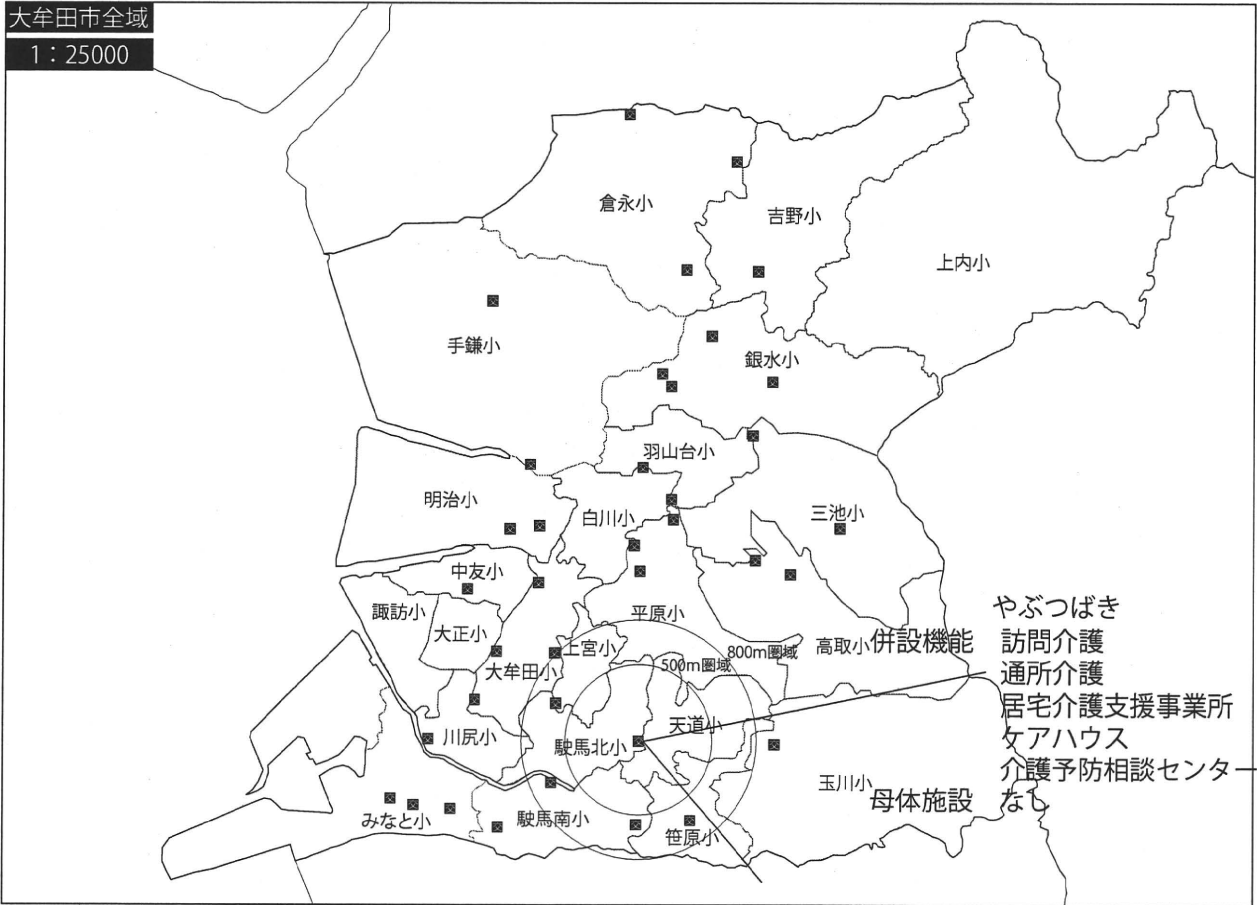
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		有	
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか 交流拠点を利用している利用者より、特定高齢者・要介護者の情報をもらい、サービス利用につなげている。			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか			
	どちらにもあまり寄与しないと思う			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について			
	交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

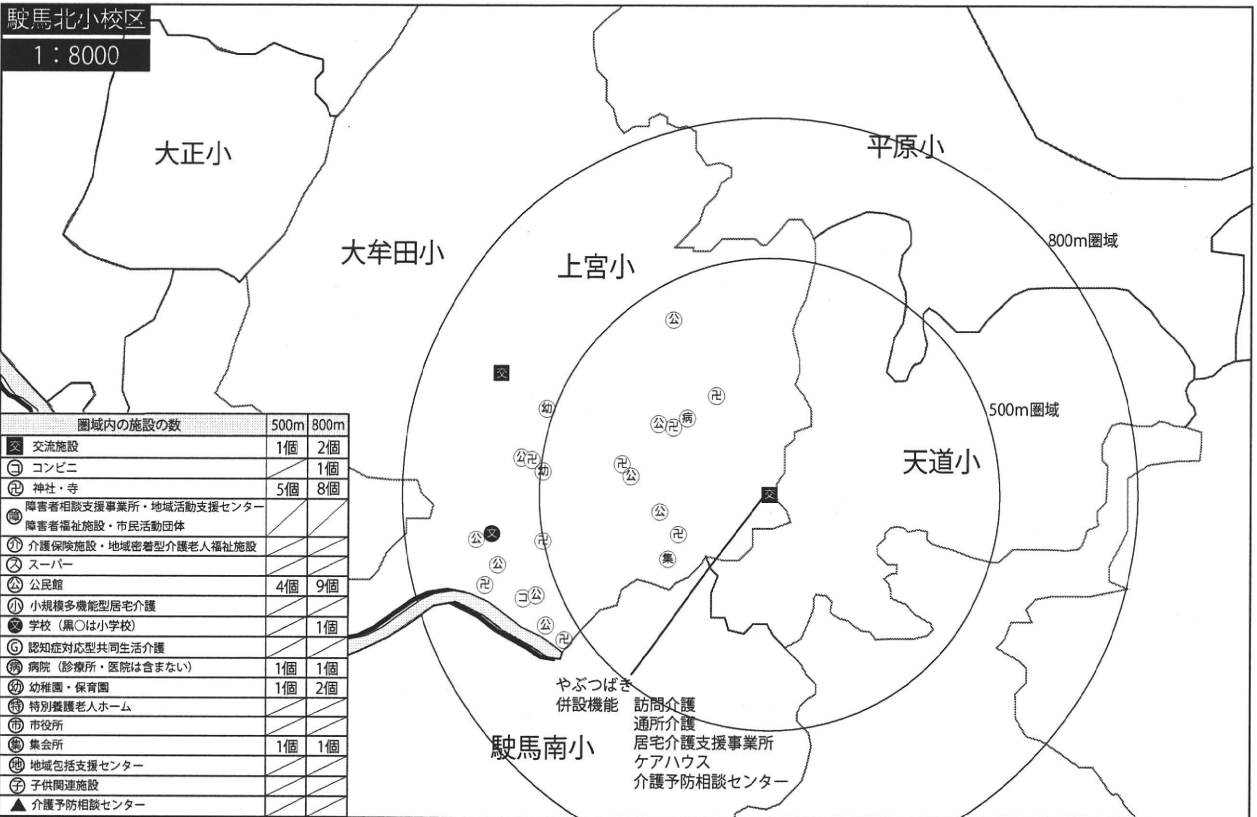
大牟田市全域

1:25000



駿馬北小校区

1:8000



園域内の施設の数	500m	800m
交流施設	1個	2個
コンビニ	1個	1個
神社・寺	5個	8個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター		
障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー		
公民館	4個	9個
小規模多機能型居宅介護		
学校 (黒○は小学校)		1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	1個	2個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所	1個	1個
地域包括支援センター		
子供園遊施設		
介護予防相談センター		

人口	4741人	老人クラブ加入率	0%
65歳以上の高齢者数	1713人	公民館加入率	36.4%
単身高齢者世帯数	561人	投票率	55.5%